

第2期行財政改革プログラム 個別取組工程表

所管	総務	局	行政	部	行政管理	課
項目	3-1	内部管理マネジメントの推進				
実施内容	<p>内部統制の考え方を活用し、業務プロセスにおけるリスクや責任の所在等を明らかにするとともに、マニュアルの作成等を通じて、業務の効率化を進める。</p> <p><具体的な取組></p> <ul style="list-style-type: none"> 各課でのリスク、ムリ・ムダ・ムラの洗い出し リスク、ムリ・ムダ・ムラへの取組状況等の情報を各課へ提供 組織横断的又は全庁共通のリスクへの対応やムリ・ムダ・ムラの改善等について検討し、共通のルールや基準等の整備等を行うため、業務改善委員会を開催 					
目標	<p>組織横断的又は全庁共通のリスクへの対応やムリ・ムダ・ムラの改善等について検討のうえ、共通のルールや基準の整備等を実施</p> <p>(平成27年度追記)</p>					
工 程	当初予定	26年度	27年度	28年度	29年度	
		<p>各課でのリスク、ムリ・ムダ・ムラの洗い出し</p> <p>リスク、ムリ・ムダ・ムラへの取組状況等の情報を各課へ提供</p> <p>業務改善委員会の開催、共通のルールや基準等の整備等の実施</p>				
進捗状況 (実績・見込)		26年度	27年度	28年度	29年度	
		<p>各課でのリスク、ムリ・ムダ・ムラの洗い出し</p> <p>25年度取組実績の把握、各課でのリスク、ムリ・ムダ・ムラの洗い出し</p> <p>各課でのムダ改善支援</p> <p>リスク、ムリ・ムダ・ムラへの取組状況等の情報を各課へ</p> <p>共通ルールや基準等の整備等の実施</p> <p>定量指標の提示、各課での業務チェック支援</p>				
数値目標	-	見込	26年度	27年度	28年度	29年度
		実績	-	-	-	-
実績	27年度	<p>・ムリ・ムダ・ムラの改善状況を示す定量指標として、電子決裁率に着目し四半期毎の指標を提示。四半期毎に電子決裁推進の視点や手順を示すとともに、指標改善の成果を提示し、各課の改善取組を促進した。</p> <p>・保育所、区役所などの同一業務形態にも関わらず定量指標である電子決裁率の低い課へ業務改善の支援を行った。</p>				
単年度の 効果額見込 及び実績	見込 実績	26年度	27年度	28年度	29年度	
		-	-	-	-	
評 価	27年度	B	課題	<p>・各課におけるムリ・ムダ・ムラの洗い出し、改善の取組は定着してきており、今後は、各課だけでは改善できない取組を支援することで一層推進していく必要がある。</p> <p>・事務ミス発生リスク改善に対する取組はまだ定着していない。このために、今後はリスク管理の取組を強化していく必要がある。</p>		
			改善策	<p>・ムリ・ムダ・ムラの改善については、事務ミス発生リスクの洗い出しと合わせて、ムダが発生すると考えられる事務のチェックを行い、各課への改善支援と改善事例の提示を行う。</p> <p>・事務ミス発生リスクのチェックリストとリスク軽減の視点と手順を提示し、各課での事務リスクの洗い出しを行い、リスク軽減について支援を行う。</p>		
評価基準		A: 目標を上回って達成 B: 目標を概ね達成 C: 未達成				
備考						